

## ●事業の概要

この事業は、社会福祉法人妙林苑（保育園）とNPO法人きょうとグリーンファンドが協力して、京都市北区にある「妙林苑」に、市民共同で太陽光発電設備を設置したものです。

事業費として、妙林苑の資金、きょうとグリーンファンドおひさま基金（市民からの寄付）のほか、合同会社きょうと情報カードシステム（KICS-LLC）、オムロン株式会社のご支援、ご協力をいただきました。そのほか、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）との共同研究事業となっています。

京のアジェンダ21フォーラム、京エコロジーセンター、京都府地球温暖化防止活動推進センターの後援、NPO法人気候ネットワーク、NPO法人環境市民のご協力をいただきました。

設置後は、妙林苑、きょうとグリーンファンドが協力して環境に関する学習を進めていきます。

## ●発電所データ

●設置場所：京都市北区 社会福祉法人 妙林苑

●設置日：2007年5月12日

●発電能力：10kW規模

●発電量：約10,000kWh/年

●総事業費：約1,264万円

●寄付額：84万円（130件/個人・団体）

●寄付募集期間：2007年1月13日～2007年6月30日

●支援：合同会社きょうと情報カードシステム（KICS-LLC）

●寄贈：オムロン株式会社より ソーラーパワーコンディショナー

●共同研究費：NEDO/太陽光発電新技術等フィールドテスト事業 630万円

## ●社会福祉法人 妙林苑

1937年（昭和12年）12月6日に、当時妙林寺院後保育園として設立された当園は、2007年（平成19年）創立70周年を迎えることになりました。皆さんに支えられ、たくさんのお力を頂いたお陰だと感謝の気持ちでいっぱいです。

「強いこどもになりましょう」「やさしいこどもになりましょう」「考えるこどもになりましょう」「のびのびと大切にしましょう」の四つの約束を柱としての保育の日々です。

前園長は、こどもたちと一緒に花を育てるのが好きでした。温かい光を注いでくれるおひさま、やさしく降り注ぐ雨、それらをしっかりと受けとめる大地の存在を知り、人や物を大切にすることを育てようとの思いがあったのでしょうか。

心の痛む出来事が多いこのごろです。今こそ（いのちの尊さ）を考えなければならない時ではないでしょうか。環境問題は、地球規模の大きな課題です。このたび、おひさま発電所を設置して頂く事をきっかけに、私たちは小さな力ではありますが、いのちの出会いの場である保育園で、自然の恵みに感謝しながら、いただいた（いのち）がいつまでもキラキラ輝いていられるよう、学習の場を広げ、積み重ねていきたいと思っております。

## ●合同会社きょうと情報カードシステム（KICS-LLC）

KICS-LLCは、商店街、同業組合を含めた44組合1300加盟店を擁する中小事業者が構成する日本最大規模の地域情報化団体です。私たちが住む京都の地に恩返しができる……との思いから、年間事業益の一部を原資として平成9年より社会還元事業に取り組んできました。エコロジー問題が囁かれる昨今、KICSもエコを通して還元事業を行うべく「おひさま発電プロジェクト」に協力させていただこうと考えました。

## ●オムロン株式会社

オムロンは、事業活動にともなう環境負荷低減に取り組む一方で、環境保全に役立つ製品・技術の創出にも取り組んでいます。幼稚園や保育園へ市民共同の発電所をつくり、地球温暖化防止と子供たちへの環境教育につなげるというNPO法人きょうとグリーンファンド様の趣旨に賛同し、当社のソーラーパワーコンディショナーを寄贈させていただくことになりました。地域の多くの方々に、環境に対する配慮を身につける機会になっていくことを願っています。

## ●特定非営利活動法人 きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは省エネ型の暮らしと社会をめざしながら、自然エネルギーの普及を進めています。省エネに取り組みながら積み立てた「おひさま基金」を活かして、市民参加で地域の保育園や幼稚園などに環境学習の拠点となる「おひさま発電所」をつくっていくのです。

きょうとグリーンファンドは「環境のために何かをしたい」と考えている人たちが、無理なく続けて参加できる仕組みで、次の世代に豊かな地球環境を手渡したいと考えています。多くの方々の参加がおひさま発電所を広げていく大きな力になります。市民共同の「おひさま発電所」作りに、ぜひご参加ください。



### ■社会福祉法人 妙林苑

〒603-8332 京都市北区大將軍川端町151  
電話：075-461-6714 FAX：075-463-9320  
E-mail：myourinen@eos.ocn.ne.jp  
URL：http://www.aus.co.jp/n/myourinen/

### ■特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

〒600-8104 京都市下京区五条通り高倉西入る  
万寿寺町143 いづつビル6階  
電話/FAX：075-352-9150  
E-mail：info@kyoto-gf.org  
URL：http://www.kyoto-gf.org



この冊子は、風力発電による自然エネルギーを使用して、大豆油インキで印刷しています。

2007年7月発行



妙林苑に

2007年5月12日

# おひさま発電所が できました!

## みょうりんおひさま発電プロジェクト



### 妙林苑 苑長 眞田 寛子

「ともにいのちがやく世界へ」は、浄土真宗本願寺派のスローガンです。いのちの尊さに目覚めるひとり一人が、それぞれのちがいを尊重し、ともにかがやくことのできる社会をめざすものです。当園も創立70周年を迎えるにあたり、『まことの保育』の実践にむけて、子どもたちの明るい未来のため、今私たちにできることは何だろうと考えていた時、きょうとグリーンファンドさんとの出会いがあり、今回の『おひさま発電所』設置が実現しました。「おひさまの力で、今日はどれだけ発電しているのかな？」と毎日、音符が光る表示盤の前を通るのを、おとも子どももとても楽しみにしています。自然の恵みが目に見えることで感謝する気持ちがわき、節約すること、もったいないという思いと実践を、少しずつでも積み重ね、環境学習の第一歩になってくれたらいいなと願っております。今回の事業にご支援いただきました、たくさんの方々に感謝申し上げますとともに、今後とも自然といのちに目を向け、慈しみの心を育てて参りたいと思います。有難うございました。

### きょうとグリーンファンド理事長 板倉 豊

きょうとグリーンファンドが発足してから8年がたち、妙林苑保育園のおひさま発電所が10機目という節目の設置となりました。園の関係者をはじめ設置に協力頂いたすべての団体及び個人みなさまにお礼とお祝いの言葉を述べたいと思います。毎回の点灯式には各設置団体の方々の創意工夫あふれるセレモニーをしていただき感謝に耐えられません。特に園児によるセレモニー参加には工夫とユーモアが感じられ、未来の子ども達からあずかったこの地球の環境を守らねばという決意をあらたにさせられます。毎回環境の「環」というものを感じます。今回は奇しくも板倉の大学のゼミ生のお母様が妙林苑で保育士として働いておられ、その学生から妙林苑の保育士の皆様の日々の取り組みの意気込みが毎日のように伝わり、心強く、たのしく、嬉しく思っていました。物理的なソーラーパネルの設置ということよりもそこに働くスタッフの環境に対する意識改革こそ、当グリーンファンドの目指すものであるからです。環境教育のスタートおめでとうございます。

## おひさま発電所ができるまで

みょうりんふえすた2006



ソーラークッカーでポップコーンができる！ すごい、おひさまパワー！



おひさまの力で噴水がふき上がります。パネルを隠すと、噴水が止まる！



おはし、ごみ袋の持参を呼びかけたら、おまつりのごみがついの3分の1に。みんなで、工夫・協力すればごみは減るんですね。

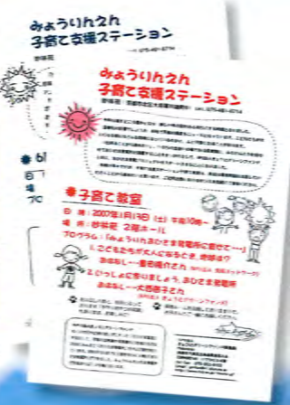
## 子育て支援ステーションとしての取組み



地域の商店街や区役所にも協力を呼びかけて、ポスターを貼ってもらいました。「地域みんながつくるおひさま発電所」ですね。



「子育て支援ステーション」として、地域の方にも地球温暖化や自然エネルギーのお話をしました。



## みんなで作ったよ！



「おひさま発電所」づくりに参加して下さった方に送ったカードです。感謝のウインク♡



「おひさまピカピカいのちキラキラ」子どもたちの輝く未来のため、このチラシでおひさまプロジェクト参加を募りました。



おひさま発電所づくりを思い出に残そうと、それぞれのクラスに分かれて絵を描きました。みんなわき目もふらず思い思いにペンを走らせてます。



パネルの裏の見事な絵!! 表はしっかり電気を作ってくれます。

子どもたちのおつとめ。ここから点灯式が始まります。



住職さんのお話。仏様の教えの中にも「かんきょう」を大切にすることを元気づけてくださるとあるんですね。



保育士自作の紙芝居。温暖化の影響を知って、私たち一人ひとりができることを元気づけてくださりました。



## いよいよ点灯式！

おひさまパワースイッチオン!! 子どもたちの点灯で花御堂が七色の光でキラキラ輝きました。



「東本願寺と環境を考える市民プロジェクト」から、お寺にあったイチヨウの木でつくった立派な看板が贈られました。



お釈迦様の誕生をお祝いして一緒に甘茶をかけました。



点灯式が終わって、ハイポーズ! おひさまからできた電気、みんなで大切に使うね。



「サン、ニイ、イチ、ハイッ!!」おひさまパワーでどのくらいの電気が出来たのかを知らせてくれる表示盤がみんなにお披露目されました。



「あの絵は僕が……。」「私のなまえがここに……!」これからはみんなで描いたパネルが、屋上からみんなを見守ります。